

萩市
HAGI

議会だより

2013.10.15 No.30

編集/議会だより編集委員会 発行/萩市議会
〒758-8555 萩市江向510 TEL 0838-25-3131



9

月定例会

須佐地区 保育園・小学校・中学校 合同運動会

災害復旧に向けた素早い対応..... 2・3 ^P

24年度一般会計決算審査..... 4・5

一般質問 13人が質問しました 6~10

常任委員会審査概要 12~14

11月9日・10日 萩ふるさとまつり・萩時代まつり



災害復旧に向けた素早い対応

9月4日、総務委員会、経済建設委員会を開催し、7月28日に発生した集中豪雨による災害の逸早い復旧のため、専決処分された各会計の補正予算や、被災地のため一刻も早く実施する必要がある事業に関する補正予算について審査を行い、全て承認・可決すべきものと決しました。

平成25年7月30日専決された各会計の補正予算の概要

| 補正予算を計上する会計 | 補正号数 | 補正予算額 | 補正後の予算額 |
|-------------------|------|-----------|---------------|
| 一般会計 | 第4号 | 4,939万5千円 | 318億3,044万5千円 |
| 簡易水道事業特別会計 | 第2号 | 1,380万円 | 3億4,940万5千円 |
| 特定環境保全公共下水道事業特別会計 | 第1号 | 2億3,630万円 | 3億2,760万円 |
| 農業集落排水事業特別会計 | 第1号 | 1,810万3千円 | 6億6,300万3千円 |

歳出予算の事業内容（主なもの）

（一般会計）

○災害廃棄物処理事業（4,414万9千円）

早急に撤去する必要があった被災家屋等から搬出された災害廃棄物を回収し、須佐グラウンドへ仮置きしました。回収した災害廃棄物の数量は約6千トンを想定しています。

（特定環境保全公共下水道事業特別会計）

○特定環境保全公共下水道施設災害復旧事業

（2億3,630万円）

須佐地区にある当該施設が、国道191号崩落による土石流や須佐川の氾濫により被害を受けたため、施設が利用できるよう仮復旧を行いました。

（農業集落排水事業特別会計）

○農業集落排水施設災害復旧事業（1,810万3千円）

田万川・むつみ地域の処理場や排水管路が被害を受けたため、復旧を行いました。



平成25年8月9日専決された一般会計補正予算（第5号）の概要

| 補正前の予算額 | 補正予算額 | 補正後の予算額 |
|---------------|--------------|-------------|
| 318億3,044万5千円 | 11億9,745万5千円 | 330億2,790万円 |

歳出予算の事業内容（主なもの）

- 公用車復旧事業（449万8千円）
被害を受けた公用車の修理・購入費用
- 災害救助事業（9,603万2千円）
臨時救護所の運営経費や被災児童生徒の学用品購入費用、災害弔慰金や見舞金、住宅応急復旧費等
- 農業施設災害復旧事業（3億2,774万9千円）
小川地区の新規就農者住宅の改修費用や農地等の土砂取り除き対策補助金、応急復旧経費や測量設計経費等
- 林業施設災害復旧事業（5,006万2千円）
林道倒木処理経費や測量設計経費等
- 水産施設災害復旧事業（110万円）
須佐漁港海岸「まてかた護岸」において、消波ブロックが流出したため復旧工事の経費
- 土木施設災害復旧事業（5億4,923万6千円）
応急復旧経費や小河川から流入した土砂取り除き対策補助金、測量設計経費等
- 市営住宅災害復旧事業（1,417万9千円）
被害を受けた須佐・田万川地域の市営住宅の修繕経費
- 小学校施設災害復旧事業（1億2,007万9千円）
須佐・田万川学校給食共同調理場の復旧経費や被害を受けた給食配送車の購入経費、学校遊具の整備や教材備品の購入費等



平成25年9月各会計補正予算の概要

| 補正予算を計上する会計 | 補正号数 | 補正予算額 | 補正後の予算額 |
|-------------|------|-------------|---------------|
| 一般会計 | 第6号 | 3億2,841万8千円 | 333億5,631万8千円 |
| 簡易水道事業特別会計 | 第3号 | 740万円 | 3億5,680万5千円 |

歳出予算の事業内容（主なもの）

（一般会計）

- 災害廃棄物処理事業（3億1,764万2千円）
須佐グラウンドに仮置きされている災害廃棄物を、可燃物と不燃物に分別して処理します。
なお、リサイクルしなければいけない家電製品については、適正にリサイクル処理します。
- その他事業（1,077万6千円）
須佐文化センターや須佐公民館、須佐歴史民俗資料館等の災害復旧事業も行われます。
- （簡易水道事業特別会計）
- 簡易水道施設災害復旧事業（740万円）
被災した田万川・須佐地域にある水道施設の本格復旧に向け、機器等の修繕や調査設計を行います。



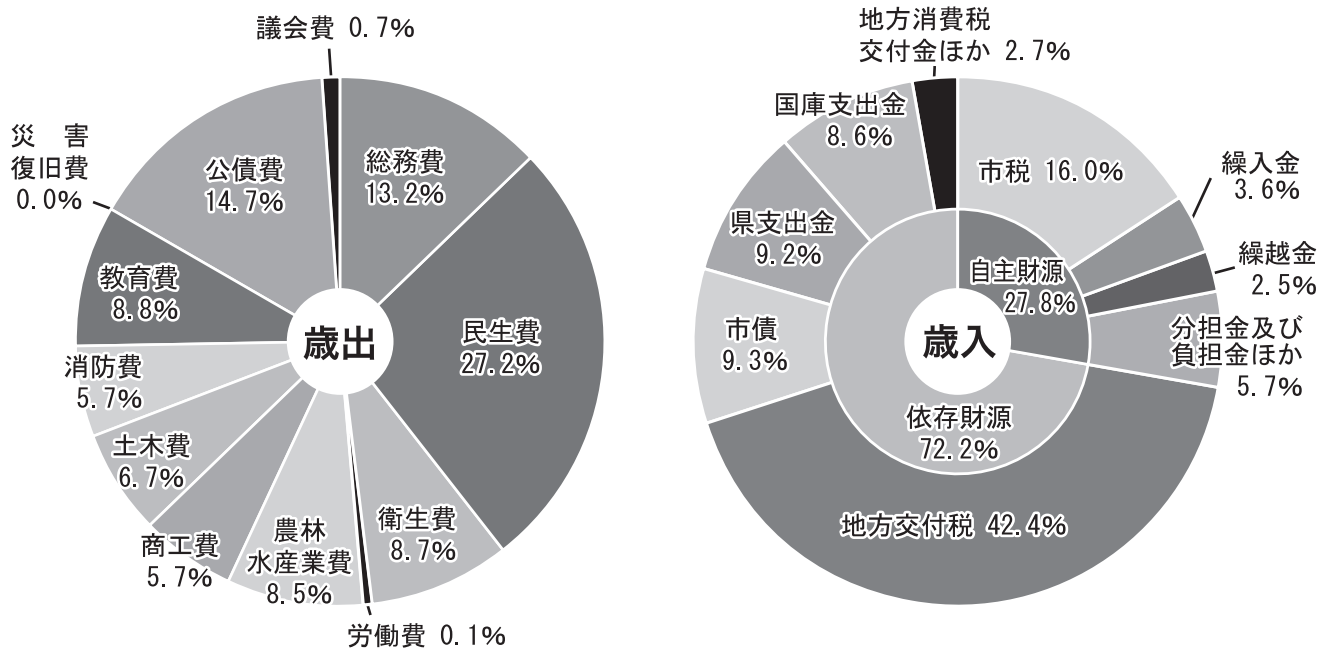
実質収支 6億3,281万円の黒字

一般会計決算額

歳入 349億3,473万円
 歳出 339億9,071万円
 繰越明許費 31億5,869万円 (25年度中に執行)
 実質収支 6億3,281万円

平成24年度一般会計決算他17特別会計決算を9月定例会(会期9月4日~25日)で認定しました。

平成24年度一般会計決算



決算の概要

歳入

3割自治続く。6億円を超す黒字になったが楽観できません。自主財源比率27・8%、依存財源比率72・2%。自主財源の柱である市税は景気の低迷と人口減少で今後も減少することが予想されます。自主財源が少ないため市独自の事業の取組みが困難で、国・県の補助事業に頼らざるを得ないということになります。一方、地方交付税は合併特例の適用がなくなる27年度から漸減することが決まっております、財政運営はますます厳しくなります。

歳出

県下の他市に比べ高齢化がすすんでいる当市は高齢者医療・介護・生活支援等のサービスを多くの予算を投入せざるを得ません。しかし今のうちに人口減少が続くと現行の行政サービスの維持が困難になります。今後は、7月28日の集中豪雨被害の復旧に多額の予算が必要になります。

自主財源の確保に収納率の向上が急務

(単位 千円)

| 区分 | 調定額 | 収入済額 | 収納率 | 不能欠損額 | 収入未済額 |
|-----------------|-----------|-----------|-------|--------|---------|
| 市 税 | 6,215,540 | 5,585,624 | 89.9% | 49,739 | 580,177 |
| 県 平 均 (19市町の平均) | | | 93.6% | | |
| 保 育 料 等 | 289,655 | 247,873 | 85.6% | 54 | 41,728 |
| 住 宅 使 用 料 等 | 223,658 | 177,549 | 79.4% | 927 | 45,182 |
| 国民健康保険料 | 2,148,788 | 1,704,165 | 79.3% | 79,345 | 365,327 |

平成24年度一般会計決算認定

～ 予算は生かされたか 重点施策の実現に ～

主な審査内容

【総務費】

問 行政情報番組制作・放送事業でケーブルテレビやコミュニティFMの番組制作の委託料が、1520万円となっていますが、この額は他自治体の同様な事業と比較していかがですか。

答 周辺自治体と比較しても、安価だと思います。

問 予備費充用した費用に なぜ不用額が計上されるのですか。

答 予備費充用はルールに従って緊急的に必要なものなどそのつど判断しています。年度途中で予備費を充用した場合、各事業完了後結果として不用額が発生しました。

農業再生元年の取組みの手応えは

【農業費】

問 農業再生元年として取組まれた新規事業（特定農業団体法人化支援・集落営農支援員設置事業・市民農園開設事業）の手応えはどうですか。

答 法人が規模拡大をする

際、補助を行った結果、今夏、大災害にあったが組織したことで再起することに對し結果が生まれています。

問 森林整備促進・担い手育成事業で24年度に新規雇用された2人は、現在どうしていますか。

答 現在は、阿武萩森林組合で職員として雇用されています。

【水産業費】

問 漁業後継者育成対策事業補助金では具体的にどのような事業を行ったのですか。

答 実行委員会形式で、お見合いパーティーを行いました。28人が参加し、3組のカップルが誕生しました。

【徴税費】

問 徴収指導員設置事業の具体的な取組みについて尋ねます。

答 職員の徴収能力向上を図るためのもので、困難事案、差押え等に対処しました。

※ 市税の収納率は県下19市町の平均より4%弱低くなっています。

【老人福祉費】

問 老人福祉費の中で敬老会の経費助成金の使途についてお尋ねします。

答 これは、それぞれの地区で敬老行事を開催するための助成金です。

問 地区によっては助成金の1000円を配布したり商品券にして対象者に配るといふ事例を聞きますがどうですか。

答 本来の助成金の使途はあくまで敬老行事開催時の補助金ですから、各地区に文章で再度主旨を理解していただくようお願いしています。

【用地費】

問 地籍調査はいつ頃終わりますか。

答 年3%程度の進捗率なので10年はかかります。

誘致企業の工場建設は順調か

【商工費】

問 企業推進事業費の一部を25年度へ繰越したことに工場建設への影響はありますか。

答 全くありません。

問 萩商工会議所・阿西商工会及び萩阿武商工会の事業所数はそれぞれのくらいですか。

答 萩商工会議所が147

5事業所、阿西商工会が203事業所、萩阿武商工会が207事業所です。

問 1事業所あたりの補助金額に大きな違いがありますが、不公平ではありませんか。

答 合併時に、萩地域720万円、他地域は、1地域360万円と決めています。

問 マスコットキャラクター「萩にゃん」を作成されましたが、作成費はいくらですか。

答 1体約70万円、2体作成しました。なお現在は月に10回程度イベント等に参加しています。

問 萩商港駐車場の利用状況は、いかがですか。

答 ゴールデン・ウィークやお盆を中心に利用があります。日頃は、荷揚げ場や荷物置き場としても利用しています。

【児童福祉費】

問 児童福祉費負担金（保育料等）の未済額についてお尋ねします。

答 収入済額の比率は85.6%、収入未済額は、417.2万円あります。

【保健衛生費】

問 医療従事者研修宿泊施設整備事業の不用額及び当初計画からの変更となったのはなぜですか。

答 事業を推進していく中で、基金を有効に活用するため、当初計画及び施工年度などの変更を行い、それに伴う財源の組み換えを行ったものです。

【土木費】

問 道路橋梁費で、道路新設改良費の県工事負担金の不用額は、補正で対応すべきではありませんか。

答 年度途中、状況に応じ県工事の依頼をする場合もあり、主に、社会資本整備総合交付金の補助事業でもありますので、財政課と協議の上、流用対応としたものです。

【社会教育費】

問 萩ユースふれあいスペース事業の利用状況は。

答 平成24年度は、11人が利用し、その内2人が自立しました。

問 天然記念物見島ウシ産地再生事業の畜産業費と文化財保護費の補助金の住み分けは怎么样了。

答 有利な補助事業を農政課等と協議の上選択しています。

一般質問

9月9日から11日まで13人の議員が、一般質問を行い、その質問項目の一部を掲載します。



被災した
空き家対策について
佐々木 武夫
(公明党)

【問】7月28日の豪雨災害で被災した家屋の中には空き家が多くあります。崩れそうで危険なうえ家の中は泥で埋まり、作業が出来ないと相談もありました。行政が解体を行いその費用は所有者等に請求できる代執行という制度があります。このたびのように被災者に責任のない場合どうするのか、所有者等に費用請求出来るのか、また災害援助法の適用はできないのかなど、被災した空き家に対して、どのように取組まれるのかお尋ねします。

【答】今回の災害により、被災した空き家については大きな課題と考えています。災害救助法等による支援措置では居住されている世帯が対象であり、空き家は支援の対象となりません。大規模災害における被災した空き家の取扱いについては、近隣に危険を及ぼす原因にもなるため、今後、所有者等と相談しながら具体的な対策を考えていく必要があると思います。また新しく発足する災害復興局の課題として取り上げて行かなければならないと考えています。



被災した空き家

《その他の質問項目》
・再生可能エネルギー活用に向けての取組みは



観光パフォーマー
事業について情報
開示を求めます
大村 赴夫
(誠風会)

【問】6月定例会にかかると議会だよりに掲載された私の一般質問に対する執行部答弁に「観光パフォーマー事業について」事業者は6月から事業を開始しています。」とあります。質問者たる私は、そのような認識はありません。私は個々のインタビュアーや独自の調査に基づいて自身の心象を形成しています。観光パフォーマー事業には、仕様書が達成すべき事柄として、さまざまなことが書かれています。事業者を決定するのに審査会が開かれました。その審査会では、どのようなことが審議されたのでしょうか。審査会の皆様は、いろんな場面で活躍され知見を有する方々であるそうです。仕様書についての議論も含め、審査会の模様を情報開示して下さい。

【答】審査会は、有識者1名、経済・産業関係団体3名、金融機関1名の計5名で構成され、応募書類をもとに、事業の内容20点・雇用の継続性30点・事業実施能力30点・運営管理体制10点・加算点10点の100点満点の採点方式で事業者を決定しました。審査の中では、起業支援型地域雇用創造事業の条件となっている「委託事業終了後も自助努力により事業・雇用を継続する」という雇用の継続性が、最大のポイントとなりました。

《その他の質問項目》
・「災害復興局」の設置について
・7月2日にロンドンで行われたアレキサンダーウイリアムソン教授御夫妻の顕彰碑除幕式について



主要県道萩篠生線の
道路改良について
中野 伸
(新生会)

【問】主要県道萩篠生線は、言うまでもなく福栄・おつみ地域はもとより、萩市にとって重要な基幹道路で生活路線です。加えて国道191号木与く宇田間が通行止めになれば、迂回路になります。7月上旬の雨により、リサイクルセンターの近くが崩れ、約1ヶ月も通行止めとなりましたが、この間、通学生はもとより福栄・おつみ地域の皆さんは、奈古・大井・川上経由で迂回を余儀なくされ、生活や通学に大きな支障を来しました。引き続き災害に強い道路に改良されることを県に要望されてはいかがですか。

【答】主要県道萩篠生線の重要性は、今回の災害で国道191号線の迂回路、萩津和野を結ぶ観光道路、通勤・通学や清掃車両、工事車両等が利用する地域の生活道路として重要路線であると再認識しました。本路線の道路改良については、これまでも県に対し要望を行っていますが、これから決定される山陰道との関係もありますので今後とも国及び県に対して強く要望・要請活動を行ってまいります。

《その他の質問項目》
・高齢者対策について



片側通行となった県道萩篠生線



市内の治水対策は
大丈夫か

西中 忍
(過疎問題を考える会)

【問】7月28日に発生した集中豪雨は、これまでに経験したことのないもので、須佐・田万川・おつみ地域に甚大な被害をもたらしました。

災害ボランティア活動を行う中で、被災住民から須佐川がこれまでも氾濫を繰り返して、その都度大きな被害を出しているとお聞きしました。そこで、今回氾濫した須佐川や田万川の治水対策について、市長はどのような考えを持っているのかお尋ねします。併せて、その他の市内の治水対策がどうなっているのかお尋ねします。

【答】須佐川を含む被災河川の災害復旧については8月20日に県に対し災害発生原因を徹底究明の上、河川整備計画等の見直しを早急に行うとともに、地元住民のコンセンサスや関係機関との十分な事前調整を図り早急な対応を行うよう緊急要望をしています。被災河川の治水対策については、今後、河川管理者である県からの改修提案を受け、災害復興局において地元住民の合意形成を得ることに重点を置き、地元調整を行っていきます。



氾濫した須佐川



7月28日の集中豪雨
被害の対応について

関 伸久
(過疎問題を考える会)

【問】①住宅被害に対して支援金が支給されますがその金額はわずかです。これ以外に萩市単独で経済援助を行う考えはありませんか。こういう非常時こそ中央公園や博物館前駐車場金を値上げし、支援原資とするべきです。(市民は無料)②次に被災地には空き家がありますが、これらの非居住者世帯も支援金の対象になりますか。それよりも萩市に居住する世帯により手厚い手当を望みます。③JR山陰本線の復旧見通しはどうですか。沿線住民の貴重な交通網であり、観光インフラでもあることから早期の復旧に期待します。④最後に、被災廃棄物の仮設置場は被災地域の近くに確保して下さい。被災初期ほどの廃棄物はないものの、仮設置場の件で被災者の気を煩わせるのは大変心苦しい限りです。

【答】①駐車場料金の値上げは、災害とは別の話になります。駐車場料金設定については、地域共通の問題なので少し考えてみたいと思います。②被災者生活再建支援法による支援金は、居住世帯が支給対象です。非居住世帯は対象になりません。③JR山陰本線は被災箇所が多く復旧には相当時間が必要です。④災害ごみは、9月から戸別収集により対応しますので、ご理解をお願いします。

《その他の質問項目》
・外国人の誘致に力を入れて、京都市に次ぐ観光都市を目指そう



7・28 記録的豪雨
災害について

椋 晶雄
(過疎問題を考える会)

【問】7・28豪雨災害の実態を把握し、今後の市の防災・復興施策に反映させることが必要です。この災害は、従来のものとは全く違うものでした。市の対応としては、①すぐに河川などに溜まった土砂の浚渫。②河川や道路のあり方の新しい発想の検討。③公共施設の内、保育園は高台に移転を検討。④避難場所の再検討。⑤須佐地区の医療体制の整備。⑥被災者への支援等について親身に被災者に寄り添って実施し、高齢者の多い地域でのモデルとなるよう期待します。

【答】①緊急性の高い河川から迅速な対応を県へ要望しています。②県には中長期での視点で流水断面等の見直しを要望しています。③須佐保育園は旧奈古高校須佐分校施設の活用について検討を始めています。④立地の危険度や耐震性を再検証し、指定の変更を検討しています。⑤須佐診療センターの10月再開を目指し最善の努力をしています。⑥過疎が進むことのないよう災害復興局を中心に市独自の追加支援を含めできる限りの支援を検討していきます。



被災した家屋



災害復旧・生活と
生業の再建は
市民の声をもとに

宮内 欣二
(日本共産党)

【問】災害復旧は市民の生活と生業の再建が必要で
す。市民の声をもとに早期の復旧復興が必要です。
次のような市民の声にどう応えますか。非常時の
緊急対策として住民自ら行う孤立解消や被災物運搬
などの活動に支援する仕組み。生活再建支援制度へ
の上乗せや拡充。農地の復旧事業費の負担軽減。被
災農機や施設の更新の補助率の引き上げ。耐用年数
の拡大。軽自動車税の減免など。
また須佐の医療環境をどうしますか。須佐保育園、
小川支所復旧の方針は。

【答】緊急時の住民自治活動への支援については、
今後、考えてみたいと思います。被災者の生活再建
支援に対する市独自の支援としては、見舞金の支給
等のほか、義援金の配分や軽自動車税の給付など工
夫ができないか検討を
進めています。また被
災農業者経営体育成支
援事業は、できるだけ
実情に即して対応した
いと考えています。須
佐保育園は、高台への
移転を検討しています。
また小川支所は場所及
び他の施設との合築等
の検討を始めています。



ボランティア活動の様子

《その他の質問項目》
・高校生生寮の設置と通学環境の改善について



7・28 災害
復旧に全力を

広兼 義烈
(誠風会)

【問】7月28日の集中豪雨で市東部は大きな被害を
受け生活は一変してしまいました。被災前の生活に
一日も早く復することが最大の課題です。
そこで、

- ①災害を100%復旧する。
 - ②被災地域の過疎化の誘発にならないよう施策の
充実を図る。
 - ③農地を農地として次の世代に引継ぐ。
- 以上の3点は萩市の意思であることを明言いた
きたい、いかがですか。

【答】災害復旧には相当な時間を要しますが必ず元
の姿に、そして、復興の観点で新しいまちづくり
繋がるよう努力していきます。さらに、過疎化の誘
発を防ぐため、住み慣れた所で頑張っていただけ
る限りの措置を講じて
いきます。また農地の
継承は大きな目標です。
先祖伝来の農地を河原
か農地か判別不能な状
況にしておくことはで
きません。

行政はもちろん、地
域住民や関係者の皆さ
んと力を合わせて頑張
っていききたいと思いま
す。



被災した農地

《その他の質問項目》
・防災における公助のあり方は



景観行政について

斉藤 眞治
(新生会)

【問】萩市屋外広告物条例・規則及び、陶芸の村展
望台付近の桜の木と植樹と景観について尋ねます。
(1)萩市屋外広告物条例・規則が制定され5年が経過
します。そこで、内部・外部からの意見を含めた条
項・規則の見直し、規制緩和・メリハリの必要性が
あると考えますがどう思われますか。

- (2)陶芸の村展望台付近に桜の木が寄贈され植樹され
ています。この木が、展望台から眺める景色・景観
の妨げになるとい声があります。そこで、
- ①植樹する場所について寄贈者との協議をしまし
たか。
- ②植樹場所の長期計画に基づき、規程・基準をつ
くり、植樹場所の提案と決定が必要ではありませんか。
- ③植樹の規程・基準や植樹場所を公開するなど情
報の共有が必要ではありませんか。

【答】萩市は世界遺産への登録を目指していること
からも景観行政をしっかりとやっていくことが大事
です。条例の施行から5年が経過し、ようやく良好
な景観が形成されつつあること及び市内を12の地域
に分け、それぞれに定めた基準を設定して既にメリ
ハリはついていることから基準の見直しは考えてい
ません。ただし5年間の取組みを検証する意味で景
観審議会の意見を聴くことは考えています。
なお、陶芸の村公園の植樹の基準については設け
ていません。



学校施設における耐震化の進捗状況

木村靖枝
(政和会)

【問】学校施設は、児童・生徒の学習や生活の場です。災害時には住民の避難場所としての役割を果たすことから、安全性は重要であり現在、全国各地で学校施設の耐震化が進められています。国庫補助率^{70%}高上げ措置を平成27年度まで延長し、27年度末までの出来るだけ早い時期に完了させる方針と聞いています。萩市での耐震化率は63・2%で未耐震校舎など35棟あると聞いています。

少子化が急速に進んでいる当市にあって将来の学校統合を勘案されているのか老朽化した校舎の耐震化より校舎の改築を検討されているのか推し測ることはできません。

萩市東部地区の未曾有の豪雨災害の復興も急がれるところですが、学校耐震化も大事な事業だと思われまます。耐震化の進捗状況についてお尋ねします。

【答】学校施設は、児童生徒の安全・安心の確保はもとより、災害時の避難所として使用されることから、その耐震化は萩市の最優先課題の一つとして取り組んでいます。耐震診断を行った結果、耐震化を必要とする施設が多く、耐震化率は平成25年4月1日現在で63・2%の状況です。今後も計画的に耐震化事業を行い、平成27年度を目途に学校施設の耐震化が完了するように全力を挙げて取り組んでいきます。

《その他の質問項目》

・介護保険における家事援助サービスについて



学校施設の整備と車椅子の設置について

世良眞名夫
(誠風会)

【問】私は現在、車椅子を利用し生活をしています。先日、病院で身体の不自由なお子様をお持ちのお母さんが、現在建替え工事中の明倫小学校がバリアフリー化され、身障者が安心して生活が送られるのかと非常に心配されていましたが、バリアフリー化はされていますか。

また各学校に車椅子を配置する事は出来ませんか。車椅子に子供達が触れる事によって福祉について関心や障がい者への思いやりがうまれるのではないのでしょうか。

【答】学校施設は障がいの有無に関わらず子どもたちの活動に支障なく安全に安心して利用することができなければいけません。現在建設中の明倫小学校もバリアフリー化を進めています。また市内全小・中学校で実施している福祉に関する学習の中で車椅子に触れる体験学習等も推進しています。各学校への車椅子の設置についてこれから研究していきます。今後とも障がいや福祉に関する学習の充実や豊かな心の育成に取組んでいきます。



寄贈された車椅子

《その他の質問項目》

・観光行政について



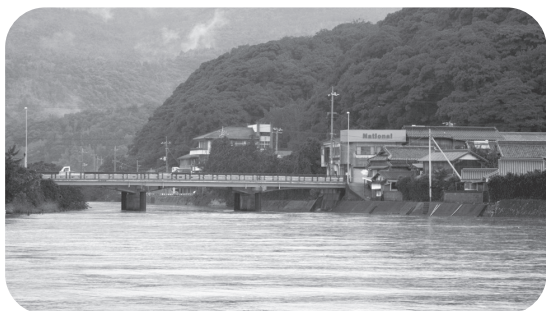
大井橋の架け替えについて

西元勇
(誠風会)

【問】7月13日午後5時3分、大井橋上で交通事故が発生しました。交通規制は1時間40分におよび、車は延々阿武町へと続き不安と焦燥の広がる異様な場と化しました。前回の事故からあまり日を置かないうちに再度事故が発生し、無事故パワースポットの言葉も使えなくなった今、次の事故が発生する前に橋の架け替えができないか、市長の所見をお尋ねします。

【答】大井橋については、過去に何度も補修工事・耐震補強等により強化策が取られています。

架け替え工事を行うには、どうしても迂回路が必要ですが、住家が密集しており移転補償等を含め多額の経費が必要となることから、今の状況では架け替えは非常に困難です。今後、萩インターからの延伸による山陰道が完成すれば、迂回路の必要が無くなりますので、その後、大井橋の架け替えを要望したいと考えています。



大井橋と川

《その他の質問項目》

・大井川の適正な管理について



費用対効果と観光客数増での経済効果アップについて

諸岡皓二
(無所属)

【問】 まちじゆう博物館構想・世界遺産構想・明治維新150周年等に投資した金額が約130億円を超え、萩市のかじ取りを任されて20年、企業誘致政策の遅れによる雇用状況は改善されず、加えて少子高齢化社会への対応、そして第一次産業の販路拡大と多くの課題を抱えています。投資した金額に対して、どのような経済効果及び成果があつたのか、また数十年來観光客数140万人、宿泊客数45万人前後で推移しており、この壁を打破することが、最大かつ喫緊の課題です。そのために、観光プロフェッショナルを全国公募し、打開策を計る必要があります。また明倫小学校跡を観光本部の拠点とし、観光に関する部署を一体化し、情報の集中化、戦略の徹底と意思の伝達、効率化を図り、費用対効果に結びつけることを考えてみてはどうですか。

【答】 萩にある江戸時代の歴史的遺産は修復し保存しているからこそ、これを観ようと多くの観光客が萩を訪れるものと思います。観光のプロフェッショナルの公募については、考えていません。

これまで萩の観光は、市や観光協会等の関係者が萩の特色を生かして構築してきたものです。今後も外部のアドバイスも参考にしながら頑張っていきたいと思います。また明倫小の跡地利用については、同じ思いを持っていきます。現在、検討委員会で活用策について議論を行っているところです。

- ・ 防災行政
- ・ 山口福祉文化大学の理事として

主要道路整備促進調査特別委員会の活動状況

9月17日に委員会開催 小郡萩道路の早期完成と山陰道の早期着工

◎豪雨災害による国道・県道の被害状況の確認

7月28日の豪雨災害を受けた直轄国道191号須佐地区で16km（17箇所被災）の全面通行止めの状況、8月5日の通行止め解除（復旧作業）について、現場写真により説明を受けました。また国道315号、県道では萩篠生線・迫田篠目停車場線・益田阿武線・津和野田万川線及び、須佐川・唐津川・蔵目喜川・阿武川・大江後川・原中川・田万川の河川被害の状況についても執行部より説明を受けました。

市道については、被災箇所が多く萩市が設置した「災害復興局」において調査されるとのことでした。

◎今後の取組み

豪雨災害で主要幹線の通行止めが多く発生したことから、改めて、生活道路、災害復旧・復興道路として、小郡萩道路の早期完成と山陰道の必要性を痛感しました。このことから特別委員会としては、10月から山口県議会及び県担当課との意見交換会の開催、山陰道の着工を要請する地方小委員会の開催を関係国会議員や国交省に求める行動を展開することとしました。

産廃処分場建設問題調査特別委員会の活動状況

9月17日産業廃棄物調査特別委員会と執行部との相互の情報交換を行いました。

執行部からの情報提供

- ・ 萩・福栄 水と命を守る会の6月以降の動きに関する報告で、街頭募金活動とあわせ努力をされていること等の報告でした。
- ・ 萩・福栄 水と命を守る会主催の講演会が、11月30日(土)18時に開催される予定です。
(講師、会場は未定)

協議事項

- ・ 特別委員会の視察の日程・場所・内容について協議しました。
- ・ 農協関係の総会や集会において、産廃処分場建設反対の特別決議が行われているが、他団体の総会や集会にも産廃処分場建設反対の特別議決ができるよう関係者に依頼してはどうか。
- ・ 具体的な産廃建設業者の動きのない中、建設反対のアピールのため、デモ行進の継続、市民一丸となつての反対運動の持続の確認しました。
- ・ 具体的に反対運動を進める中で手ごたえが欲しいのですが、思うように進まない焦燥感がありました。

平成25年度9月補正予算(第7号)(第8号)の概要

(単位：千円)

| | 補正前の予算額 | 補正予算額 | 補正後の予算額 |
|-----|------------|---------|------------|
| 第7号 | 33,356,318 | 88,317 | 33,444,635 |
| 第8号 | 33,444,635 | 581,015 | 34,025,650 |

歳出予算の主なもの

(単位：千円)

| 費目 | 事業名 | 補正額 |
|----------|---|------------------|
| 【商工業振興費】 | <p>◎相島定住促進事業</p> <p>相島における定住促進を図るため、国の離島活性化交付金を活用し、寄贈を受けた住宅を改修し、受入れ体制の充実を図るとともに、定住促進パンフレットを作成しPR活動を展開します。</p> <p>◎地域経済循環創造交付金事業</p> <p>国の緊急経済対策事業で、地域の資源と地域の資金を結びつけ、新たに先進的で持続可能な事業を始める市内事業者に対し、初期投資の一部を助成するものです。</p> <p>事業内容：萩産のゴマ等の農産品と萩の搾油技術を活用し、油製品の製造販売を行います。</p> | 10,100 25,177 |
| 【公園費】 | ◎陶芸の村公園整備事業 | 14,977 |
| 【生涯学習費】 | ◎子ども・若者総合支援事業 | 1,506 |
| 【一般管理費】 | ◎職員人件費 | 72,381 |
| 【農業振興費】 | ◎被災農業者経営体育成支援事業 | 58,200 |
| 【商工業振興費】 | ◎中小企業者災害対策資金利子補給事業 | 7,986 |
| 【非常備消防費】 | ◎消防団災害対応事業 | 3,223 |

総務委員会

常任委員会の審査の概要をお知らせします

豪雨災害本格復旧への第一歩 ～1日も早い復旧・復興を目指し最善かつ最大の努力を続けます～

総務委員会には、平成25年度萩市一般会計補正予算(第7号)(第8号)を含め5議案が付託され、審査の結果すべて可決すべきものと決しました。

平成25年度萩市一般会計補正予算(第8号)では、豪雨災害の本格復旧の費用も含まれており、少しずつではあります。復旧に向けた取り組みが行われ始めました。

審査の主な内容は、次の通りです。

○平成25年度萩市一般会計補正予算(第7号)について

これは、地域農業の活性化を図る事業や相島の定住促進を図る事業、子ども・若者の支援体制の充実を図る事業などが含まれています。

・相島定住促進事業について

問 現在、相島に移住を希望する方はいますか。

答 今のところいませんが来年度より教員が入居する予定になっています。

問 教員が入居後、移住希望者が現れた場合は、どうするのですか。

答 移住希望者を優先し、教員には退去してもらいま

この事業について、委員から本来の目的である相島の定住促進のため、PR活動に力を入れてもらいたいという意見や、移住者を募集するに当たっては、仕事をセッティングしてもらいたいという意見がありました。

・地域経済循環創造交付金事業について

問 どのような事業を行うのですか。

答 萩市産のゴマを中心とした農作物の油製品を製造・販売します。

問 雇用は、どの程度見込めますか。

答 初年度は3人程度ですが、将来的には5〜6人を雇用する予定です。

なお、担当課から、この事業で搾油に使う搾油機は市内業者が製造したものを使用すると説明がありました。

○平成25年度萩市一般会計補正予算(第8号)について

これは、今回の豪雨被害を受けた被災地の1日も早

い復旧・復興のためのものです。

・普通財産解体事業について

問 須佐の松原医院を解体しないで利用することはできませんか。

答 当該建物は今回の災害で大きな被害を受け修理に多額の費用がかかることや、現在のところ利用目的がないことから解体し、跡地を広場等で利用するよう検討しています。

問 広場等で利用するということですが、具体的な案がありますか。

答 具体的な利用方法は、復興計画と一緒に検討します。

・軽自動車災害補助金交付金事業について

問 修理をした車は、対象になりますか。



被災した軽自動車

・市営住宅災害復旧事業について

問 対象住宅は、何戸ありますか。

答 田万川・須佐地域を合わせて76戸です。

問 どの位の期間がかかりますか。

答 12月末までの約3カ月間を予定しています。

改修される相島定住促進住宅



改修される相島定住促進住宅

教育民生委員会

須佐診療センター再開・診療日時拡大

教育民生委員会には平成25年度萩市国民健康保険事業（事業勘定）特別会計補正予算（第1号）を含む議案15件が付託されました。審査の結果全て認定・可決するものと決しました。

主な審査の内容は次のとおりです。

○平成25年度萩市国民健康保険事業（事業勘定）特別会計補正予算（第1号）

これは、後期高齢者支援金及び前期高齢者納付金の負担額が確定したことに伴う支払経費、平成24年度の剰余金を基金に積み立てる経費、前年度の医療給付費等負担金などの確定に伴う返還金を予算計上するもの。問 平成24年度の保険料は大幅に値上げされましたが24年度からの繰越金は1億5370万円もあります。保険料の賦課が高過ぎたのではありませんか。

答 剰余金は約1億5000万円ありますが、この内医療給付費等負担金、高齢者医療制度円滑運営事業費補助金、前期高齢者交付金の各関係機関からの超過交付分の返還金が、約5700万円です。また収納努力により、1・32%収納率が

向上した結果が6500万円有りました。したがって賦課による剰余金は約3000万円でした。今後も適切な保険料賦課に努めていきます。

問 国民健康保険基金積立金の累計額はいくらになりますか。また基金はどのくらい積立てるのですか。

答 平成24年度末の基金残額が2億8336万円です。ので、今回の基金積立により3億8526万円となります。基金積立基準額は、過去3カ年間における保険給付費等の平均年額の5%以上に相当する額を積み立てることとなっています。

萩市では約4億円以上となります。

○平成24年度萩市病院事業会計決算認定について

※入院患者数
・延べ2万8783人
（一日平均78・9人）

・前年度比1766人減
※外来患者数
・延べ7万933人
（一日平均289人）

・前年度比1297人減
収益的収支における事業収益25億5434万円に対し、事業費用26億1589万円となり、差し引き純損失は6152万円となりました。

問 一般の簿記では借入資本は負債に入りますが、病院会計ではなぜ資本金に入っているのですか。

答 市立病院などの公営企業会計では借入資本は資本金に入れることとなっています。しかし地方公営企業会計制度の見直しにより、平成26年度からは新会計基準に基づいた予算・財務諸表の作成をすることとなりました。したがって借入資本は今後負債となります。

問 病院の経営状態は。

答 財務安全性については短期支払能力を判定するための流動比率は、731%で理想比率以上です。また現金は年々増えています。財務状況は健全です。

問 須佐診療センターの診療日を増やすための必要の改正を行うもの。また診療所再開について、診療日時等を見直したことから、必要となる医療器具の購入及び設備の修繕費を予算計上したものです。



須佐診療センター

○平成25年度萩市国民健康保険事業（直診勘定）特別会計補正予算（第3号）

○萩市国民健康保険診療施設設置条例の一部を改正する条例

これは豪雨災害の影響により、須佐地区の民間医療機関が廃業することに伴い須佐診療センターの診療日を拡充するため必要の改正を行うもの。また診療所再開について、診療日時等を見直したことから、必要となる医療器具の購入及び設備の修繕費を予算計上したものです。

【須佐診療センター】

| | |
|-----|--------------------|
| 診療日 | 診療時間 |
| 火・木 | 午後2時30分 午後6時30分 |
| 土 | 午前8時30分 午後正午 |

審査において委員から、市民が安心して受診できるように体制を整えていただきたい。また市民の視点から見ても大変厳しい人員体制ではないかとの意見がありました。

経済建設委員会

豪雨災害の復旧・復興に向けて



被災したマンホール制御盤

経済建設委員会には、平成24年度萩市水道事業特別会計決算認定ほか、議案9件と豪雨災害の復旧・復興に係る補正予算4件が付託されました。審査の結果、すべて認定・可決すべきものと決しました。

萩市駐車場事業特別会計決算認定について

問 新堀駐車場の利用料金が減収になっている要因は何ですか。

答 近隣に駐車場が出来たことと、事業所の移転もあり利用が減ったことです。

今後は建物の解体を行い平地での駐車場を整備します。

萩市簡易水道事業特別会計決算認定について

問 水道検査委託料での多額の入札差益の理由は何ですか。

答 見積りは、予算編成時に水質検査委託業者等を参考にしています。

水質検査については、業者間の競争が激しく落札率は低率となつていますが落札金額に関係なくしっかりと検査されており、業務に支障はありません。

問 落札率が低いというのであれば、予算編成時に落札率を反

映されてはいかがですか。

答 水質検査は、萩市全体の水道施設を一括で入札しているため、落札率は低率となりました。日本水道協会が中心となり設計指針を作成しています。その指針に基づき積算した場合、業者からの見積もりよりも積算額が高くなるため、見積り額による予算要求としています。落札率を見込んだ予算を組むことはできません。また市内業者には、水道水質検査の資格のある業者は現在のところいません。

なお、各会計の決算審査にあたり、水道・下水道料の滞納整理等の取組みについて、徴収に向け積極的な対応を図るべきです。水洗化について普及率が低い地域のさらなる推進に取組み普及率向上に努めるべきとの意見がありました。

災害復旧・復興に対しては、インフラ整備は重要であり大変努力しているのは承知していますが、今後の整備計画への取組みは、早期の復旧・復興に向けて対処してほしいとの委員の一致した意見がありました。

可決された議員提出議案

今定例会の最終日（9月25日）に議員提出議案が提案され可決されました。

議員提出議案第1号 地方税財源の充実確保を求める意見書

地方財政は、社会保険関係費などの財政需要の増加や地方税収の低迷等により厳しい状況となっていることから、基礎自治体である市が、住民サービスやまちづくりを安定的に行なうための地方税財源の充実が不可欠であることから次のことの実現を求める意見書。

1. 地方交付税の増額による一般財源総額の確保についての5項目。
2. 地方財源の充実確保についての7項目。

議員提出議案第2号 萩市議会委員会条例の一部を改正する条例

7・28豪雨災害への復旧・復興作業を円滑に進めるために「災害復興局」が新設されたことに伴い、災害復興局の所管に属する事項に関して、総務委員会を所管とする条例改正。

全員協議会

9月5日に全員協議会が開催されましたのでご報告いたします。

【議長報告】

- ・豪雨災害に対する萩市議会を通じたお見舞い金について（詳細別途報告）

【執行部説明】

- ・萩市財政の健全性に関する比率について（総務部財政課）

（4指標及び資金不足比率の状況説明）

①実質赤字比率（赤字である場合に比率として現れる指標）②連結実質赤字比率（実質赤字額又は資金不足額）③実質公債比率（地方債元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する割合）④将来負担比率（負担見込額及び将来支払う可能性のある経費）4指標とも健全な状況にあること、また資金不足比率も各公営企業会計において資金不足を生じていないとの説明でした。

- ・総合事務所における税務申告受付体制の見直し（市民部税務課）

現在実施している申告受付体制の維持が困難であることから、隣接する2地域を1ブロック（川上・旭ブロック、田万川・須佐ブロック、むつみ・福栄ブロック）とする新たな体制を試行的に実施するとの説明でした。

- ・平成24年度教育委員会事務の点検・評価報告について（教育委員会総務課）

基本方針：21世紀の萩らしい教育の推進、自然・歴史・文化をいかした心豊かなひとづくり。

中心目標：ふるさと萩市を誇りとし、志を抱きながら、生きる力をもった子どもを育成する。

これらのスローガンのもと、特色ある教育活動推進拠点校（コアスクール）構想による事業点検・評価シートを用いた説明でした。

【陳情・要望】

- ①地球社会建設決議に関する陳情書 ②「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書採択」に関する陳情 ③萩市議会議員の報酬の額及び定数の見直しについて（要望）が議長に提出されました。

萩市議会を通じた災害見舞金

7月28日に発生した豪雨災害に対して姉妹都市、北浦2市、友好都市等の議会から萩市議会に届けられた見舞金を「萩市集中豪雨災害救援義援金」に納めました。（見舞金は次のとおりです）

鎌倉市議会 26万円・輪島市議会 20万円・長門市議会 10万円・美祢市議会 10万円・前橋市議会 38万円
 砺波市議会 5万円・全国市議会議長会 10万円・中国市議会議長会 3万円 合計 122万円

討論

平成25年度萩市国民健康保険事業 （事業勘定）特別会計補正予算第1号

国民健康保険制度は、国民皆保険の基盤をなし、他の医療保険に属さない人の全てを被保険者としています。また高齢化の影響を受けやすいことから、国民健康保険事業を取り巻く環境は大変厳しいものとなっています。

国保料の歳入不足からやむを得ず国保料を平成22年度より3年間にわたり引き上げています。平成24年度における決算では、経営努力により特別調整交付金の追加交付等から黒字会計となっていますが、引き続き医療費の適正化を図り、健全な運営に努められることを要望し賛成討論とします。

賛成

反対

国保料は3年間で一人当たり4万円の負担増にもかかわらず、平成24年度は黒字決算です。また、償還金・基金積立金も計上されています。

国保料の負担は重く、所得の2割を占める家庭もあるなど家計を苦しめています。

国保料をもっと引き下げるには、根本的には国が市町村国保への負担の割合を元に戻すことです。萩市としても市民の健康を増進させ医療費の支出を抑えて国保料が高くないように努力すること、市民から取りすぎた保険料を市民に返すことを求めて反対討論とします。



小川地域



小川地域



須佐地域



むつみ地域



須佐地域



むつみ地域



須佐地域



須佐地域

つれづれなるままに



たような気になり道を過ちかねません。「議員にとって市民の皆さんに呼びつけられ、意見を聞かされることほどうれしいことはありません。」と申し上げた。現にこれまで議会の一般質問や議会活動での実績の多くは、市民の皆さんの小さな声が含まれていることが多々あります。ですから、常々感じていることですが、議員の私にとって「先生」は「市民」の皆さまとと思っています。

中村 洋一

「議員」は「先生」？
市議会議員選挙で初当選直後、突然「先生」と言われ、まさに「じええじええ」なんて昨日まで一市民であった私が、議員になった途端に「先生」。直ぐにその場で「二度とそんな呼び方をしないで下さい」とお断りしたことがある。その後も何度もお断りすることがあったが、そのうち職業上の慣習で使っている人の場合、面倒くさいので聞き流すことにしてきた。しかし、市民相談等で市民の方々が、「先生」などと使われた場合には、厳しく指摘し否定してきました。

最近、青年たちと意見交換する機会があり、その席である青年が、この「先生」を使ったのは私はずかさず意見しました。「議員は皆さん方が選挙で一票を投じ選出した訳で、議員を「先生」などと祀り上げるのではなく、何かあったら議員を呼び付けて「〇〇議員、少し話を聞いてもらいたい」と、自分たちの夢や萩市の事や地域の事、何でもいいからしっかりと議員を使って欲しい。皆さんが「先生」などと呼んでいると、議員もよほど偉くなったような気がしなくはないです。「議員にとつて市民の皆さんに呼びつけられ、意見を聞かされることほどうれしいことはありません。」と申し上げた。現にこれまで議会の一般質問や議会活動での実績の多くは、市民の皆さんの小さな声が含まれていることが多々あります。ですから、常々感じていることですが、議員の私にとって「先生」は「市民」の皆さまとと思っています。

●表紙の説明
7・28の豪雨で育英小学校・須佐保育園のグラウンドが使用できなくなったため、被害を受けなかった須佐中グラウンドで合同運動会が行われました。

編集後記

萩市東部を襲った7月28日の豪雨災害で亡くなられた方の御冥福をお祈りし、御遺族の方をはじめ被災された皆様と心からお見舞い申し上げますと共に一日も早い復旧・復興をお祈りいたします。

また市内各地からは勿論、全国から馳せ参じて酷暑の中にも拘わらず御尽力頂いたボランティアの皆様に感謝申し上げます。

人口減少を憂い、かねがね「自然いっぱい、きれいな水と空気、災害のないまち・萩」をキャッチフレーズに全国から定住人口を募りたいと思っていました。夢は見事に打砕かれました。

先人の「いつまでも有ると思うな親と金、ないと思うな運と災難」という言葉を忘れていました。

議会だより編集委員会

- 委員長 木村 靖枝
- 副委員長 広兼 義烈
- 委員 齋藤 眞治
- 佐々木 武夫
- 長岡 肇太郎
- 西島 孝一
- 西中 忍
- 平田 啓一